

令和元年度 第1回 成田市総合計画審議会会議録

1 開催日時

令和元年5月29日（水） 午後1時30分より

2 開催場所

成田市役所本庁舎6階 中会議室（成田市花崎町760番地）

3 出席者

（委員）

野平会長、新井副会長、小野委員、末崎委員、山崎（良）委員、
山崎（幸）委員、高梨委員、池上委員

（事務局）

企画政策部 郡司部長

企画政策課 米本課長、宮田課長補佐、平野主幹、青菜副主査、中村主任主事

4 議事（要旨）

（1）総合計画「NARITA みらいプラン」第2期基本計画の策定について

- ・「NARITA みらいプラン」における第1期基本計画が、令和元年度に最終年度を迎えることから、令和2年度から始まる、第2期基本計画の策定にあたり、市民意識調査結果、及びワークショップの結果概要について報告を行った。

5 質疑等

（1）市民意識調査結果について

□市民意識調査結果の自由記述について、前回までの調査と異なるような意見はあるか。
→今回の報告時点では速報値のため、自由記述についてはこれから取りまとめを行う予定である。

□問10「成田らしいもの、成田で誇れるものは何ですか」の設問において、前回調査と比較して異なっている結果や特筆すべき事項はあるか。

→前回の調査結果と比較し「新勝寺、宗吾靈堂など歴史・伝統・文化」、「成田空港やホテル群、外国人観光客の多さなど国際的なイメージ」、「祭りの活気や表参道など新勝寺周辺のにぎわい」など、選択肢の上位については順位が変わらず、大きな乖離は見られない。

□日本人と外国人との共生についての設問があるが、成田市において外国人が増加している状況の中、市に在住している外国人の子ども達の人数や学校教育をしっかりと受けられているかについて、市は正確に把握しているのか。他の自治体の中には、それらを把握できていない団体もあると聞いており、将来的に社会問題となり得ることが懸念される。

→この設問は今回の調査で新たに追加したものであり、市としても外国人との共生は重要な課題として捉えている。また、府内においても生活支援などを含む外国人の相談窓口を拡大しようと検討しているところである。人数や就学状況についての詳細については、教育委員会所管のため確認する。

□今回の調査から新たに導入した設問は。

→今回の調査で新たに導入した設問は、問5「あなたは、心配ごとや困っていることはありますか」、問20「障がいのある人もない人もともに暮らしやすい社会を築くために、あなたはどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか」、問28「2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を間近に控えていますが、開催を契機とした地域活性化やレガシー（遺産）の創出につなげる取り組みとして、市はどのようなことに力を入れるべきであるとお考えですか」、問40「あなたが現在参加している地域活動は何ですか」、問41「日本人と外国人の住民がともに暮らしやすい社会にしていくために、行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか」の5つとなる。

□施策別満足度・重要度調査結果について、「住みやすく快適な生活環境を整える」などは重要度が高いものの満足度がやや低い傾向であり、このような施策は次期計画策定にあたり極めて重要なものとなってくると思うが、どのような地域で満足度に差が生じているのか。

→地域間格差などにより、このような結果になっていると思われるが、今後、詳細版を作成していく中で分析していく。

□市で実施しているインターネットによる調査の結果は、今回の調査結果に反映されているのか。

→インターネットによる市政モニター制度を活用してのアンケート調査も実施したが、市民意識調査とは別の調査のため、今回の結果には反映されていない。

□施策別満足度・重要度調査は毎年実施しているのか。また、実施しているのであれば前回調査との比較を行っているのか。さらに、市としてそれらの結果をどのように認識しているのか。

→今回の市民意識調査とは別に、毎年実施している市民満足度調査において、施策別満足度・重要度についてのアンケート調査を実施しているが、前回の市民意識調査との比較については、設問項目に違いがあるため、単純な比較はできない。また、調査結果については、重要度が高く、満足度が低いものについては、行政サービスが行き届いていないということであるため、今後、その差異を埋められるような施策を充実させていきたいと考えている。

□問32「あなたが成田市内における都市基盤について、以前と比べて改善されていると感じているものはどれですか」では、約36%の方が「駅周辺の広場や施設が整備され、人と車の流通が円滑になった」と回答しているが、次の問33「成田市の都市基盤を充実させるために、どのような取り組みが望ましいとお考えですか」では、約29%の方が「成田市の玄関口としてのJR・京成成田駅前地区の整備」と回答している。改善されているとの声がある一方、整備を求める声も多いが、駅周辺の整備はすでに終わっているのではないか。

→京成成田駅周辺やJR成田駅西口などについては、これから整備を行っていくところであるが、JR成田駅東口の駅前広場の整備により、一定の満足度が得られているものであると推測される。

(2) ワークショップの結果概要について

□ワークショップの実施にあたり、外部のコンサルタントが入っているのか。

→総合計画策定時に実施したワークショップではコンサルタントに依頼したが、今回はその際に学んだノウハウを活用し、企画政策課職員により自前で実施した。

□ワークショップの実施にあたり、具体的な気づきなどがあれば知りたい。

→参加者の意見として、高齢者の方々と若い方々との世代間交流に関する内容や、交通に関する話題が多く挙がった。

□私自身もワークショップに参加したが、良いアイデアもある一方で、市への要望に関する意見も多かったように感じる。また、一緒に参加した市職員は、問題意識をしっかりと持ち、全体のまとめ方が非常に上手いと感じた。

□交通の便が悪いという意見が多い理由はなにか。
→それらの意見は全体数としては少なく、東京などの交通の便が良い他の地域から来られている方々の意見であると推測される。

□施設などをつくるにあたり、市民と行政が具体的な検討を行うなど、市民協働を進めることが良いまちづくりにつながると思う。

6 傍聴

5名